

第17回 奈良県眼科万葉フォーラム

日本眼科学会専門医認定事業 申請中

謹啓

時下、先生におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

下記の通り「第17回 奈良県眼科万葉フォーラム」を開催させていただきます。

ご多用とは存じますが、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



謹白

奈良県立医科大学 眼科 緒方奈保子

日時 2019年 **6月1日(土)** 16:00~18:00

会場 THE KASHIHARA 2F 瑞穂の間
〒634-0063奈良県橿原市久米町652-2 TEL:0744-28-6636
(旧 橿原ロイヤルホテル)

単位 日本眼科学会専門医制度認定事業 2単位

会費 1000円 * 眼科医の先生には当日会場費として徴収させていただきます。
* コメディカルの皆様は無料です。

学術講演 16:00~17:00(質疑応答 16:50~17:00)

座長 上田 哲生 先生 奈良県立医科大学 眼科学 准教授

演題 『緑内障がもたらす生体リズムへの影響』
吉川 匡宣 先生 奈良県立医科大学 眼科学 講師

特別講演 17:00~18:00(質疑応答 17:50~18:00)

座長 緒方 奈保子 先生 奈良県立医科大学 眼科学 教授

演題 『 緑内障と全身リスク因子 』

谷戸 正樹 先生 島根大学医学部眼科学講座 教授

* 講演会終了後、情報交換の場をご用意しております。

「緑内障と全身リスク因子」

緑内障における網膜神経節細胞体・軸索の脱落あるいは線維柱帯流出抵抗増加に関する種々の研究は、基本的には、眼局所における病因検索を主体として行われています。一方で、緑内障は眼圧や視神経乳頭血流の変化に加えて、遺伝的素因や加齢など、多因子が関係する疾患として捉えられており、眼局所における眼圧下降治療のみでは、その発症・進行を十分に抑制できない可能性があります。種々の疫学調査では、加齢と共に緑内障有病率が顕著に増加すること、血圧や血糖などの全身因子が眼圧と有意な相関を示すことが報告されています。これらの事実は、眼局所要因だけでなく、ある種の全身因子が緑内障の病態に関わる可能性が示唆されますが、その臨床的意味合いについては、未だ、一定の見解は得られていません。酸化ストレスは、加齢における中心的なメカニズムと考えられていますが、緑内障患者においても全身的に酸化ストレスが亢進していることが、複数の研究により示されてきました。本講演では、緑内障あるいは眼圧との関連が推測される全身因子について、文献的考察と自験例を交えながらご紹介したいと思います。演者の個人的な仮説(妄想?)を多分に含みますが、おつきあい頂ければ幸いです。

【谷戸正樹先生 ご略歴】

- 1996年 島根医科大学医学部卒業
- 1996年 島根医科大学医学部眼科学講座助手
- 1999年 京都大学大学院医学研究科特別研究学生
- 2003年 日本学術振興会特別研究員・京都大学ウイルス研究所研究員
- 2004年 日本学術振興会特別研究員・オクラホマ大学ヘルスサイエンスセンター眼科研究員
- 2006年 島根大学医学部附属病院眼科講師
- 2014年 松江赤十字病院眼科部長
- 2018年 島根大学医学部眼科学講座教授 現在に至る

会場 THE KASHIHARA (旧 檜原ロイヤルホテル) のご案内

